

第1回小金井市児童発達支援センター運営協議会 次第

日時：平成30年5月29日（火）

午前10時から

場所：前原暫定集会施設2階C会議室

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 会長の互選について
- 4 副会長の互選について
- 5 小金井市児童発達支援センター運営協議会の概要について
- 6 会議録の取扱いについて
- 7 児童発達支援センターの事業概要について
- 8 平成29年度の実績報告
- 9 業務評価報告書（平成29年度）について
- 10 現況及び今年度の予定について
- 11 外来訓練事業について
- 12 今後の開催日程について
- 13 その他
- 14 閉会

■配布資料

- | | |
|------|-------------------------------|
| 資料1 | 第3期小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿 |
| 資料2 | 会議録の校正について |
| 資料3 | 小金井市児童発達支援センター「きらり」事業概要 |
| 資料4 | 平成29年度利用実績一覧 |
| 資料5 | 小金井市児童発達支援センター業務評価報告書（平成29年度） |
| 資料6 | 平成30年度職員体制一覧 |
| 資料7 | 年度当初（4月1日現在）の各事業の在籍者数の推移 |
| 資料8 | 平成30年度講演会・研修会開催予定 |
| 資料9 | きらり講演会 |
| 資料10 | 外来訓練事業について |
| 資料11 | 平成30年度運営協議会開催予定 |

第3期小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

氏名	選出区分	所属	任期
竹中 涼子	市民公募	市民公募	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
川村 祐子		市民公募	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
横田 涼子		市民公募	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
坂井 鼓麻種	市内関係団体	小金井市地域自立生活支援センター	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
佐々木 由佳		朋愛幼稚園長（民間幼稚園長会）	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
長岡 好		こむぎ保育園長（民間保育園長会）	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
遠山 敬子		たけのこ会代表	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
金子 猛	学識経験者	東京都立小金井特別支援学校長	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
高橋 智		東京学芸大学教授	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
不破 淳一	関係行政機関	小金井市立東小学校長	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
秋葉 美苗子		子ども家庭支援センター長	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで
田村 忍		教育委員会指導室	平成30年4月1日から 平成32年3月31日まで

※敬称略

会議録の校正について

1 会議録の作成方法

小金井市市民参加条例施行規則に基づき、下記3方法のうちいずれか1つを選択

(1) 全文記録

例：

△△会長 お待たせいたしました。ただいまから・・・を開催いたします。□
□につきまして☆☆としてすすめていきたいと思ひます。

(2) 発言者の発言内容ごとの要点記録

例：

△△会長 □□を☆☆として進めていく。

(3) 会議内容の要点記録

例：

□□を☆☆として進めていく。

※参考として裏面に市民参加条例施行規則の抜粋を掲載

----- キ リ ト リ 線 -----

2 会議録の送付先

氏名	送付方法	送付先
	<input type="checkbox"/> 郵 送 <input type="checkbox"/> F A X <input type="checkbox"/> 電子メール	住 所： F A X： アドレ ^ス ：

○小金井市市民参加条例施行規則（一部抜粋）

（会議録作成の基本方針）

第5条 条例第7条第1号の会議録は、あらかじめ関係附属機関等に諮った上、次に掲げる会議録の作成方法の中から、会議内容等に応じ適切な方法を選択するものとする。

- (1) 全文記録
- (2) 発言者の発言内容ごとの要点記録
- (3) 会議内容の要点記録

（会議録の記載事項）

第6条 会議録（様式）には、原則として次の事項を記載するものとする。ただし、規則、規程、細則、要綱、要領、規約等で設置根拠が定められている会議等の会議録については、第11号に定める発言内容の記載は、主な発言要旨等の記載とすることができる。

- (1) 会議の名称（附属機関等名）
- (2) 事務局（担当課）
- (3) 開催日時
- (4) 開催場所
- (5) 出席者
- (6) 傍聴の可否
- (7) 傍聴者数
- (8) 傍聴不可・一部不可の場合は、その理由
- (9) 会議次第
- (10) 会議結果
- (11) 発言内容・発言者名
- (12) 提出資料
- (13) その他必要な事項

2 前項の規定にかかわらず、率直な意見の交換や意思決定の中立性の確保のために必要なときは、発言者名の記載を省略することができる。この場合において、発言者名の記載の省略の可否は、当該附属機関等の出席委員の過半数をもって決するものとする。

小金井市児童発達支援センター「きらり」 事業概要

- 開設：平成25年10月
- 運営形態：指定管理委託
- 運営受託者：社会福祉法人 雲柱社



事業の内容

児童福祉法 (法内事業)

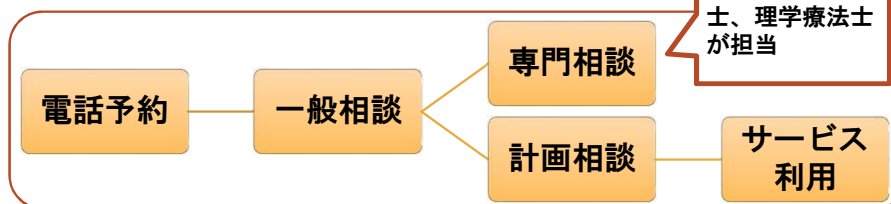
- 相談支援事業（計画相談）
- 児童発達支援事業
- 放課後等デイサービス事業
- 保育所等訪問支援事業

市独自事業 (法外事業)

- 相談支援事業（一般相談、専門相談）
- 外来訓練事業
- 親子通園事業
- 巡回相談事業
- 講演会・研修会の開催

相談支援事業

- 対象：18未満の児童及びその保護者
- 利用料：無料



3

児童発達支援事業（ピノキオ）

- 日時：月～金曜 午前9時30分～午後2時
- 対象：2歳～就学前の児童
- 定員：21名
- 利用者負担金あり
- 目的：基本的生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す。
- 送迎あり

4

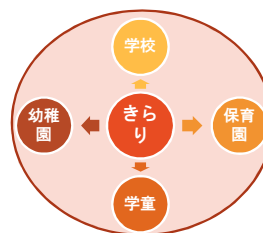
放課後等デイサービス事業

- 日時：月～金曜 午後2時～午後6時
- 対象：6歳～12歳の学齢期の児童
- 定員：1日10名
- 利用者負担金あり
- 目的：必要な支援や居場所を確保することで、
本人の生活能力向上や自立を促す。
- 送迎なし

5

保育所等訪問支援事業

- 日時：随時
- 対象：18歳未満の児童
- 利用者負担金あり
- 目的：保護者の要望に応じ、心理士等が保育所等（保育園、幼稚園、学校など）に訪問し、当該児童が集団生活に適応できるよう、訪問先への支援を実施する。



6

外来訓練事業

- 日時：月～金曜（1名につき月3回）
 - ・ 個別訓練 午前9時～午後3時のうち1時間
 - ・ グループ訓練 午前10時～午前11時30分
- 対象：2歳～就学前の児童
- 利用料金：1回1,000円
- 目的：主に保育施設及び幼稚園に籍を置く児童を対象に、相談部門の見立てに基づき、専門的な訓練を提供する。

7

親子通園事業

- 日時：火・木 午前10時～午前11時30分
（年度途中に増枠あり）
- 対象：2歳未満の児童とその保護者
- 利用料金：無料
- 目的：相談部門の見立てに基づいた小グループによるプログラム（遊び）を通して、幼児の状況、集団での状態を観察すると共に、保護者に対し幼児との関わり方や遊び方を知ってもらえるよう支援する。

8

巡回相談支援事業

- きらり所属の心理士等が、市内の学童保育所に出向き支援をおこなっている。
- 市内9施設に年3回の訪問＋まとめの会1回

9

講演会・研修会の開催

- 対象者：一般市民、市内の支援者、きらりの保護者
- 開催回数
 - ・ 一般市民向け講演会 年2回
 - ・ 市内の支援者向け研修会 年2回
 - ・ きらりの保護者向け学習会 年3回

10

講演会・研修会の開催②

ペアレントトレーニング講座

- 目的：児童の上手なほめ方、指示の出し方及び困った行動への対応方法などを保護者が学び、実践できるように講義並びにロールプレイ等を用いてグループで学ぶ。
- 対象：発達障がいがある、又は疑われる児童(4～10歳)の保護者
- 参加費：無料
- 参加者数：1講座6名程度
- 職員体制：ファシリテータ1名(心理士)、補助・記録1名
- 開催回数：年2～3講座

平成 2 9 年度利用実績一覧

平成30年3月31日現在

	平成29年										平成30年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
①相談支援事業（一般）	17件	10件	15件	18件	10件	19件	12件	27件	14件	6件	7件	11件	166件	
②相談支援事業（専門）	25件	41件	39件	45件	35件	50件	44件	69件	47件	49件	47件	52件	543件	
③相談支援事業（☎）	35件	32件	51件	15件	19件	11件	18件	27件	23件	13件	16件	26件	286件	

	平成29年										平成30年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	23人	23人	23人	23人	-	
⑤放課後等デイサービス事業	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	49人	49人	49人	49人	49人	-	
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3人	3人	2人	1人	0人	10人	
回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	3回	3回	2回	1回	0回	10回	
⑦親子通園事業	8人	19人	20人	21人	23人	25人	28人	32人	34人	36人	36人	36人	-	
回数	2回	7回	10回	8回	11回	9回	10回	12回	12回	9回	11回	6回	107回	
⑧外来訓練事業	109人	115人	120人	121人	122人	125人	125人	122人	125人	130人	130人	130人	-	
回数	279回	292回	298回	286回	257回	304回	288回	281回	295回	337回	308回	281回	3,506回	

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（☎）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

小金井市児童発達支援センター きらり 業務評価報告書(平成29年度)



小金井市児童発達支援センター運営協議会 編

平成30年3月

目次

1	運営協議会の目的	2
2	運営協議会の協議内容	3
3	評価する事業及び方法等	5
4	協議会委員による評価	7
5	利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）	19
6	課題の整理	25
7	総括	26
参考資料		
	小金井市児童発達支援センター運営協議会規則	1
	小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿	3
	平成29年度講演会・研修会開催実績	4
	平成29年度利用実績一覧	5



1 運営協議会の目的

平成25年10月1日開設した小金井市児童発達支援センター「きらり」(以下「きらり」という。)の運営について議論・確認をするため、児童発達支援センター運営協議会(以下「協議会」という。)を設置しています。「きらり」の利用者及び関係者の意見を反映し、適正な管理及び運営が図られているか検証し、利用者へのサービスの向上を図ることが目的です。

協議会の所掌事項



協議会の委員構成

センター利用者の保護者	3人
市内関係団体代表	4人
学識経験者	2人
関係行政機関の職員	3人

2 運営協議会の協議内容

回	開催日	議論内容
5	平成29年5月9日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成28年度の実績報告 3 業務評価報告書（平成28年度）について 4 平成29年度の予定等について 5 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 処遇改善加算の利用者説明について (2) 教育委員会との連携について (3) 次回講演会の開催案内について 6 今後の開催日程について 7 その他 8 閉会
6	平成29年8月8日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年7月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 処遇改善加算に係る利用者負担金増額に関する利用者への説明について (2) 講演会・研修会の開催報告 (3) 第三者評価事業者の違反報告について (4) ポスターの作成及び配布について (5) 平成30年度利用者の募集日程予定について (6) 次回講演会の開催案内 4 運営協議会委員による事業評価について 5 今後の開催日程について 6 その他 7 閉会

7	平成29年11月7日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成29年10月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 他機関との連携について (2) 講演会・研修会の開催報告 (3) 保育所等訪問支援事業の事例紹介について (4) 次回研修会の開催案内 (5) 平成28年度の第三者評価結果について (6) 委員謝礼に係る源泉徴収票の取扱いについて 4 運営協議会委員による事業評価について 5 来年度の主催講演会・研修会について 6 次期の運営協議会の体制について 7 今後の開催日程について 8 その他 9 閉会
8	平成30年3月13日	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 平成30年2月までの実績報告 3 事務局からの報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童発達支援事業の定員について (2) 施設長の変更について (3) 研修会の開催報告について (4) 平成30年度報酬改定について 4 平成29年度第三者評価結果について 5 業務評価報告書（平成29年度）について 6 その他 7 閉会

3 評価する事業及び方法等

(1) きらりで実施している事業

相談支援事業

- ・「きらり」を利用する際の入り口です。保護者の希望、児童の状況を考えて、次の支援につなげます。また、専門的な相談が必要な児童には専門相談を実施します。

児童発達支援事業

- ・保護者と離れ、日常生活に必要な基本的な生活習慣の自立を図り、社会への適応を促す療育を行います。週5日の通園事業です。

放課後等デイサービス事業

- ・小学校に在籍する児童に対し、放課後の時間を利用して、必要な支援や居場所を確保することで、生活能力向上や自立を促します。

保育所等訪問支援事業

- ・保護者からの要望に応じて施設へ訪問し、児童が集団生活に適応できるよう、支援していきます。

外来訓練事業

- ・保育施設や幼稚園に籍を置く児童に対し、専門的な訓練を提供し、自立や社会への適応力を促します。

親子通園事業

- ・幼児との関わり方や遊びを通して、保護者における適切な幼児との関わり方の習得を促します。

※評価する事業は児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、外来訓練事業、親子通園事業とする。

(2) 評価方法

以下の評価項目について、5段階の基準により評価を行う。

<評価項目>

1	職員は熱心に業務に取り組んでいるか？
2	子どもたちは楽しく事業を受けられているか？
3	事業計画に沿った運営がされているか？
4	清潔に保たれているか？
5	事故の無いように配慮されているか？
6	事業内容を十分理解しているか？
7	質問に明確に答えられているか？
8	働きやすい現場となっているか？
9	児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？
10	総合評価

※6～9は職員へのヒアリングを実施

<評価基準>

十分である
概ね十分である
どちらともいえない
やや不十分である
不十分である

※評価理由について記載がある場合は掲載



4 協議会委員による評価

児童発達支援事業 (評価者数 7人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・活動中は目を離さず子供達と同じように動いているので安心して職員に任せることが出来る。
・子供の状況に合わせたカリキュラムの流れを構築しており感心しました。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	5
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・安心した様子でカリキュラムを受けており、笑顔が多く見学する側も楽しくなりました。

概ね十分である

・笑顔がたくさん見られ、楽しく活動していた。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・年齢別にクラス分けし、その成長度に沿った内容を実施していた。

4 清潔に保たれているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・トイレを含め、清潔に保たれている。
・とてもきれいな状態でした。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	5
概ね十分である	1
どちらともいえない	1
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・職員体制が充足されてており、事故防止に努めていた。
- ・対応している職員数も十分であるように思う。

概ね十分である

- ・おもちゃを投げている子供がいたのでけがのないように対応してほしい。

どちらともいえない

- ・見学時に確認できる場面がなかった。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・目的、事業の現状等しっかりと理解されていた。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・わかりやすい回答だった。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・介護休暇制度を使えるなど、職員への配慮が感じられる、長く働ける環境を更に整えてほしい。
- ・介護休暇がしっかりと取得できる職場。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

評価理由

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・連絡帳や電話対応で個別の対応も出来ている。
 ・登退園時を含め十分に配慮されている。
 ・手紙、電話等で十分な回数なされているように思う。
 ・登園時に児のみならず、保護者方の様子にも気配り(目配り)をされていることに驚きました。今後も寄り添いながらの支援をお願いします。

10 総合評価

評価理由

十分である	5
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・熱意を持って事業を実施している。

その他(自由意見)

・通園希望者が多く待機者が多いという理由が改めてわかった気がする。
 ・クリスマス会の練習を拝見しました。発表の中に“トンネルをくぐる”“台にのぼる”“あいさつをする”“イスに静かに座る”“鈴をもって音を楽しむ”など日常保育の中で課題にしている事、できる様になった事を組みこみ、1人1人の子供達が主役になれるプログラムを作っていました。職員の業務への取りくみ、熱意を感じました。
 ・施設の使い方(2F)について、現場の希望と差がある点が残念です。現場の希望を取り入れてほしい。
 ・全てがきちんとしていて、子供たちの表情もよく、良い環境だと感じた。
 ・個々に目標を設定して指導されている様子です。

放課後等デイサービス事業 (評価者数 4人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

評価理由

十分である	4
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・様々な質問に根気よく顔を見てゆっくり答えていた。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

評価理由

十分である	2
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	1

十分である

・何をやるのか、興味を持って集中して聞いていた。お友達と同じ作業を行うことを嬉しそうにしていた。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

評価理由

十分である	1
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	1

十分である

・されています。

4 清潔に保たれているか？

評価理由

十分である	3
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・ゴミ一つ落ちてない。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	3
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・とてもいねいにクラスの移動をしていた。準備もよく考えられているため、事故は無いように感じた。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	4
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・理解されてました。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	4
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・とても明確に答えていました。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	1
概ね十分である	3
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・職員間の共有が難しいこともあるようですが、工夫しているようです。

概ね十分である

・人員が不足している。特性の子供達対応が大変。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	4
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・デリケートな業務をよく考えて、実施していることが伺えた。

10 総合評価

十分である	3
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・子供が生き生きしていました。

その他(自由意見)

・とんかちという難しい、また少し危険も伴う道具を使って、子どもたちがとても楽しそうに活動をしていました。先生方の準備や計画等、配慮が至るところに感じられました。
 ・状況に応じて、子どもたちがより集中できるよう、机の向きを変えるなど、短い時間の中でもすばやい対応があり感心しました。
 ・職員の方が子ども達個々の問題に注意を払っている様子、説明も配慮が見られていた。

外来訓練事業

(評価者数 7人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・子供が集中できるように熱心に取り組んでいる。
- ・集中力やカリキュラム内容を達成するため、工夫をしながら取り組んでいる。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・熱心という言葉では足りないぐらいよくやられていた。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・集中して活動できているのでとてもよい。
- ・集中し課題に取り組んでいる姿に驚きました。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・課題に取り組める様、工夫がされており、楽しさ感がよく伝わった。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・されている。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・特性に沿った取り組みがされている。

4 清潔に保たれているか？

十分である	5
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・きれいである。
- ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
- ・保たれている。

概ね十分である

- ・教室内は清潔だが、教材が次の授業で準備されているものなのか片付けが不十分なのかかわからないものがあつたので、わかりやすく片付けてほしい。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	5
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・配慮されている。
 ・とてもすっきりとしており、かつ目的に応じた環境だと感じた。
 ・子供たちが自由に活動する中での備品や職員体制など十分に配慮がされている。

概ね十分である

・床に置いてある教材があったので、つまづいて転ばないように片付けるなどの配慮が必要である。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・理解している。
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。
 ・事業目的に沿った業務を行っており、理解している。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	7
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・詳細な内容の回答でした。
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。
 ・個別の案件にも明確な回答があった。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・職員間の連携が出来ており働きやすいとのこと。
 ・回答もわかりやすくたくさんの対象親子に対する配慮を感じられた。
 ・子供の状態と職員配置が十分配慮されており、働きやすい。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	6
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・訓練後に保護者とのフィードバックの時間がよくとれているので良い。
- ・情報の共有がしっかりとされている。
- ・前後で伝える等確保されている。
- ・回答もわかりやすくたくさんを対象親子に対する配慮を感じられた。
- ・活動内容や個々の状況の報告がされている。

10 総合評価

十分である	5
概ね十分である	2
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

- ・とてもよい事業展開。
- ・発達支援という視点でその子にとって何が大切か、必要かということを認識して取り組んでいる姿勢がよくわかりました。

概ね十分である

- ・子供達はよく活動に取り組み、職員の対応もよくセンター内も清潔でよい。次年度も同じような対応を期待する。

その他(自由意見)

- ・子どもの集中できている訓練内容には感心しました。
- ・STとOTの訓練を拝見しました。子ども1人1人の課題を丁寧にとらえ、取り組んでいる様子が伝わりました。子供の興味・関心があるものを見つけ、そこをベースにして訓練を作っているのが職員の能力の高さを感じました。
- ・外来通園の回数が十分に確保されている。
- ・どの子どもも落ち着いて前向きに取り組んでいる様子で事業として成功しているのだと感じました。
- ・OTの設備がすばらしく、月3回の利用が継続されるとよいと感じた。
- ・設備が整っていると思います。実際の活動で目標を持って設定されている印象でした。

親子通園事業

(評価者数 3人)

1 職員は熱心に業務に取り組んでいるか？

評価理由

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・個々の子どもの特性に合わせ、待つという姿勢がとてもよかったです。

2 子どもたちは楽しく事業を受けられているか？

評価理由

十分である	2
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・楽しさの中に課題を達成していく姿が見られた。

概ね十分である

・親子での活動のため、甘えて泣き出す子供もいたが、全体ではまとまって楽しく活動ができています。

3 事業計画に沿った運営がされているか？

評価理由

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・十分されている。

4 清潔に保たれているか？

評価理由

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

十分である

・活動中に加湿するなど子供の健康管理を含め、配慮されている。教室内も清潔である。
・きれいでした。

5 事故の無いように配慮されているか？

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・パーテーションを使用したり、保護者にも協力してもらいながら対応しているのが良い。
 ・備品の管理・親子の座る位置を含め配慮されていた。

6 事業内容を十分理解しているか？

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・詳細な説明が出来ていた。

7 質問に明確に答えられているか？

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・とてもよい回答でした。

8 働きやすい現場となっているか？

十分である	3
概ね十分である	0
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・多職種との会話や情報共有が出来ていて、よいという感想でした。

9 児童だけでなく保護者等への配慮はされているか？

十分である	2
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・時間のない中で十分な配慮をしている。

概ね十分である

・時間が足りず、フィードバックが十分とは言えないので、もう少し個別の対応ができるよう検討してほしい。

10 総合評価

十分である	2
概ね十分である	1
どちらともいえない	0
やや不十分である	0
不十分である	0
未記入	0

評価理由

十分である

・大変よい事業と思います。

概ね十分である

・子供たちはよく活動に取り組み、職員の対応もよく、センター内も清潔でよい。次年度も同じような対応を期待する。

その他(自由意見)

- ・親子共に参加し課題を達成していく内容はとてもよいです。
- ・親子さんが楽しく過ごされている様子からも職員の皆さんが、一生懸命取り組んでいることを感じました。

5 利用者アンケート（外来訓練事業・親子通園事業）

外来訓練事業

（回答者数43人）

1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	25
概ね満足である	16
どちらともいえない	0
やや不満である	1
不満である	0
未記入	1

評価理由

大変満足である

・1対1で我が子のことをよく観察、検証して関わってくれるから。
・本人だけでなく、兄弟とのかかわり方なども親身に相談させていただきとても感謝しています。
・訓練に通いはじめてから出来ることがたくさんふえました。
・子供本人の成長具合にあわせて綿密な計画を立てて行って頂けるところが良いです。
・子供の援助・言葉がけを学べて親子共にとっても助かっています。どうして子どもができないのかを専門の目で見えて頂いて心強いです。
・先生の指導が適格で、子供の発達についてもよく見てくれています。
・担当してくださっているOTの先生は愛情をもって熱心にみて下さっているのです。子どもも楽しく参加できています。
・いろいろな課題を設定していただける。苦手なことも何度もやり、とくいを伸ばしたりして楽しく通っています。
・就学前に訓練をお願いしているが、大変効果が出ていて、将来への不安もかなり解消している。本当に助かっている。
・専門の資格と経験の沢山ある先生に療育していただき、とても満足です。
・子どもの苦手なところに必要な課題を、適したタイミングで与えてもらえました。そしてそれを子どもが楽しんでできるように接してもらうことで、前向きに取り組むことができました。親の悩みについても、具体的なアドバイスがもらえてうれしかったし、精神的に支えてもらいました。
・子供の特性に合わせてプログラムを組んでくれている為。

概ね満足である

・仕事をしているため、割られる曜日時間の都合が少々大変なので。
・就学前の一年間通うことができ、娘が苦手なところ、どうやったら伸ばしていけるのか理解できた。担当の先生がすごくよかった。
・子供が楽しんで通っていて満足しています。
・子供の個性や特徴、凸凹に合わせたプログラムを組んでくださり、親子ともいつも楽しみに通わせていただいております。いつもありがとうございます。曜日や時間帯があまり選べない、振り替えが出来ないので、月3回通えないことがあり、そこだけが残念です。
・先生がとても熱心で親の質問にも親身になって下さっている。
・子どもが先生が好きで楽しいようです。
・通うようになり、先生(大人)とのやり取りが上手になっていくのが目に見えてわかりました。やり取りがとても楽しそうでした。指導のポイントもわかりやすく教えていただきました。
・子どもが楽しそうに毎週楽しみにしています。通ってよかったと思います。
・決定される時間割なのでしかたないですが、年長組はできるだけ15時以降に組み込まれると助かると思いました。
・専門の方に相談したり、訓練をうけることができるので助かりました。病院等の医療機関よりは、初めてで不安があっても相談しやすいです。
・出来れば、幼稚園を休むことなく、習い事のように通えたらうれしいです。

やや不満である

・外来訓練事業が平日のみ月3回実施だったため、利用可にしていただいたが今年度はほとんどいけないままだった。平日が両親ともに仕事だと厳しい。対人関係が気になるため利用していたが、年少クラスはグループでの事業が無く困り感に対してのくんれんになったが微妙だった。

2 運営事業者についてお聞きます。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	21
概ね満足である	14
どちらともいえない	5
やや不満である	1
不満である	0
未記入	2

評価理由

大変満足である

・とても丁寧でやさしく親切。
・常に子供のことを心身のあらゆる面から考案して訓練の内容を考えて下さっています。
・親身な対応のおかげで、こどもも通うのが楽しみになっている(最初は不安で泣いていたが、すぐに解消された)。
・良い評判しか聞きません。実績のある事業者で安心です。
・皆さんが明るく優しく接して下さるので、通うことでとても前向きになれます。毎年変化があるのも、できる支援を向上させるよう尽力されているのだと思っています。

概ね満足である

・知人のお子さんもちょうどお世話になっているが、小学校に入ってから外来訓練を希望しても利用者増により継続利用できなかったと聞き、その後のフォローがないため心配になったため、必要とするサービスが受けられなければ、どうすればよいのか不安が残る。思った程小学校の対応も良くないと聞き尚更不安になった。人事と思えない。
・子育ての悩みや、子供への訓練の場があることはとてもいいことだと思うし、りようできて有難いと思います。

どちらともいえない

・よくわからない。
・小学生のフォローもできればしていただきたいし、学習でつまづきがでてから。フォローも学校のコーディネーターだけでなく、「きらり」の中にあるとより安心できるのではと思います。
・運営のスタッフの方は、窓口いる〇〇さんとあいさつするくらいで、他の方は顔もほとんど見かけません。もう少し気軽に顔を見かけるようでないかと相談もしづらい。又、例年、次年度の訓練の申し込みの結果が何をもとに決めているのか不明で、年齢の割に生活リズムを考慮していただけなかったり、そもそも申し込みについては説明もない。1年に一度の申し込みですし、もう少し丁寧なやり取りしてほしい。(せめて変更点だけでも、口頭で伝えるとか)コミュニケーションが希薄だと感じます。

やや不満である

・先生と事務室がいつでもしっかり情報共有できているというのは難しいかも知れないけど、事務室から確認して連絡をいただいたり出来れば大変ありがたかったです。また、ほかの事業で振り込み可能なのであればこの事業も振込可だと大変助かります。

3 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

- ・放課後デイサービスの枠を増やしてほしい。
- ・小学校に入学しこの特性や、指導のコツなどを学校の担任の先生と密に連携を取ってほしい。定期的な情報交換。
- ・きらりのような施設を増やしてほしい。
- ・STをやりたい。成長につれてPTもやりたいです。
- ・今のところ充実しておりさらにプラスして何かというのは個人的にございません。
- ・子供が外来訓練に通わせていただいていると、親が先生とお話できる時間が5～10分程度なので、親だけで先生とじっくり相談できるサービスも併用できるとありがたいです。
- ・夏期休暇中など長期休みの間に有料の短期講習などがあれば利用したいです。
- ・就園前の1才代や2才代に預け先がなく困った。私立の保育園は断られたこともあり、公立園の一時保育は激戦で予約が取れず本当に困った。
- ・子供の特徴についての接し方や怒り方、就学について(ここが一番不安な為)の対応等もつつこんだ話を先生から聞きたいです。グレーゾーンの子はどういう環境においてやった方がのびのびできるのか悩みます。
- ・日常生活に密着した訓練をもっと取り入れて頂き、生活訓練を通して家でできるアドバイスも可能な限りお願いしたい。
- ・ピノキオ(通所)の定員をもう少し増やして入りやすくしてほしい。待機が多くなかなかは入れないため。
- ・小学校との連携や、相談、先生や学校に理解をしていただくための勉強会など。小学生向けのペアトレーニング。
- ・同じ学年で同じような特性を持った子のグループ授業。外来は現在個別なので似たような特性なら2～3名で療育してもいいかと。対人関係の学びにもつながるのではないかと。
- ・未就学児対象のサービスですが、1年生の1学期くらいまで見て頂けるとより安心できる。振り替えが出来るとさらに良かった。
- ・小学生の個別ST
- ・3歳児(年少)のグループクラスが実施されてほしいです。現状3歳児は個別のみになってしまうので。
- ・3歳児以下の個別訓練事業。親子通園事業を利用していたことがありますが、多動児さんと思われるご家庭が一緒だった際に先生2人に子ども5～6人(+保護者)で1時間半様々な活動する中で多動児さんと親御さんがワークに入れず二人だけで教室の隅に行きワークが終わるまでそのままだった事が何回かあった。グループワークと個別訓練の両方後選択肢としてあればよいと思った。

4 その他(自由意見)

- ・2才から親子通園で通いはじめ、親子ともお世話になりました。2才の頃はとても育てにくい子でしたが、きらりに来て、接し方を教わり、訓練でとてもおびました。来年から小学生で放課後デイに入れなかったので、一旦きり卒業になりますが、また、入れる機会を楽しみに待っています。ありがとうございました。
- ・療育が本当に大事なものだと感じている中で、来年度に療育していただけるのかどうか現在不安な状態です。このような支援を是非とも継続・拡大していただけたらと思います。
- ・現在の利用には大変満足していますが、毎年来年度通えるのか不安があります。もっと希望者は通えるようにしてほしいです。
- ・ニュースで発達障害が取り上げられることが多くなってきたが、実際の教育現場でどれだけ先生方が理解できているのか解らない。どのような配慮をしていただけるのか情報がないため不安。二次障害の予防のためにも学校の取り組みを明確にして欲しい。グレーゾーンの発達障害はどの程度のサポートが受けられるのか知りたい。
- ・大変お世話になりました。どうもありがとうございました。
- ・今のこのクオリティ(計画やそれをサポートする配慮など)を保ち続けて頂けることが一番ではないかと思います。
- ・いつも温かいご指導ありがとうございます。曜日や時間帯を選べるようにいただきたいです。振り替えが出来るとうれしいです。親がじっくり先生と相談させていただけるサービスがあるとありがたいです。
- ・土曜日のイベントや交流会など情報を交換できる場を増やしてほしい。放課後など子供が集まれる場があればいいと思う。通級情報なども集めにくく、不安。
- ・小学校に入る前の幼児が相談できる施設があり、とても助かりました。きりに通い出してからとても落ち着いたと思います。ありがとうございました。
- ・きりに通所したことでもとても変わりました。一見遊びにみえる内容が、子供にとって学びも兼ねているので、先生方には本当に感謝しています。ここに通所出来て本当にラッキーでした。ただ、ちょっと変わっている子の(診断までいかないまでも)何が悩み事なのか、どこの部分に属しているのか、どこのグレーゾーンなのか、はっきり教えてほしかったです。
- ・もっと「きり」受け入れをしてほしい。結果が分からなくてハラハラする。子どもの問題点分かるがすぐ結果がでるものじゃないから長期的に通いたい。
- ・2年間ありがとうございました。イヤイヤしている子供の気持ちに寄り添いながら訓練を続けていただけました。少しずつ成長できたのがうれしいです。
- ・幼稚園(年少)に通っています。(来年は年中)きりに通うきっかけは、幼稚園から一方的なものでした。親が思うきりに通う事と、幼稚園が求めるものと、うまくやり取りが出来ず、幼稚園ともめました。(幼稚園が親の言うことに耳を傾けてくれませんでした)親もきりをうまく活用できるかわからな所もありました。親ときりと幼稚園とうまくやり取り出来たらよかったですと思いました。
- ・年に数回講座が開催されていますが、いずれも平日の開催で仕事をしている保護者は参加できません。全ての講座は無理でもいくつかは土日に実施をして欲しい。
- ・希望しても待機が多くいると聞きます。部屋を見ていると100%の稼働ではないように見受けられるので、療法士さんの確保をして多くの方がサービスを安定して受けられるようにしてほしいと思います。
- ・言葉のボキャブラリーが増えたり、苦手なことを少しずつ挑戦することを覚えたり、それが自信につながったり。一年で大きく成長を感じました。ありがとうございました。

- ・子どもは2才児ですが、訓練時間が11:30-12:30でした。保育園の食事～お昼寝の時間にかぶっていて、日頃の生活リズムを考えると集中できない時間です。いろいろな事情があるかもしれませんが年齢(特に小さいうちは月齢)を考慮した時間組をして欲しいです。
- ・定期的に子供の様子や相談ができる時間があると心強いです。
- ・来年度の事業の利用希望用紙ですが、紙にある日が月～金までの曜日選択で半分以上「×」をつけていると選考してもらえないということを提出時に知り驚きました。利用希望の方が多いのでとのことでしたが、「×」が多いから選考から外すというのは事業者側の都合のように感じてしまいました。来年度以降もそのような選考になるのであれば、用紙にそのように明記しておいていただきたいです。
- ・平日は仕事をしているので、親子通園事業も個別訓練事業もなかなか通う事が出来ず終わってしまった感じです。土曜日クラスという要望もあると思うので、一度利用希望に土曜日クラスの利用意向調査のような項目を入れていただけないでしょうか？
- ・きらりに通っていると一言言っただけで幼稚園から門前払いされて行き場がなく、ピノキオを選択せざるを得なかったという話を聞いたことがあります。もし本当にそのようなことが繰り返されていしまうのであれば年少にあがる前の進路選択の際に道がせばまらない様にきりりからも年に何度か市内の幼稚園に働かけをしていただいて相互で何か道を広げられるようなことは出来ないでしょうか。市に対しても要望など出していただけたら助かります。
- ・外来訓練事業後に、先生と保護者で話をする時間があるが、多い時だと3組鉢合わせで隣で話している内容もお互い聞こえる、顔もよく見えるような状態で廊下に出ている椅子でやるスタイルなのが気になっている。どこの家も重い話をしているのでもう少し、話している内容が聞こえないようにせめて出来ないかと思う。
- ・親同士の交流や情報交換をする場、先輩のお母さんのお話を聞く懇談会があるとうれしいです。
- ・うちの子は言語聴覚士さんに訓練をしていただいていた。子どもの訓練に加えて、私の心のケアまでしていただいたような感じがします。今回この訓練が必要と分かって親自身少なからずや気持ち落ち込み悩みました。そういう気持ちも軽く前向きになりました。ありがとうございました。

親子通園事業

(回答者数8人)

- 1 提供しているサービス内容についてどのように感じていますか？

大変満足である	7
概ね満足である	1
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0

評価理由

大変満足である

・ちょっとした相談にもすぐ対応してくれる。
・丁寧に細かく対応していただいている上、遊びの中で自己肯定感をぐくもうとしていただいているので。

- 2 運営事業者についてお聞きします。市が委託している運営事業者についてどのように感じていますか？

大変満足である	4
概ね満足である	4
どちらともいえない	0
やや不満である	0
不満である	0
未記入	0

評価理由

大変満足である

・とても親切で、本当に助けて頂いています。

- 4 現在利用している事業において今後実施してほしい療育内容、サービス等がありますか？

なし

- 5 その他(自由意見)

なし

6 課題の整理

検討項目	内容	進捗
連携・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校等関係機関との連携の強化 ・きらりからの発信力の強化 	拡充 拡充
サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練内容の充実 ・待機者への支援 ・更なる専門性の向上 	充実 拡充 充実
サービスの多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流 ・送迎方法の見直し 	検討 継続
施設の利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用方法の見直し ・稼働率の向上 	検討 充実
事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数の拡大 	充実
新規事業の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・未実施事業の実施 ・新たな療育方法の導入 ・きょうだい等に対する支援 	検討 検討 検討
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・既存事業及び新規事業に合わせた施設の改変 	検討

拡充…既存の枠組みの拡充を伴う継続

充実…既存の枠組み内での向上

継続…現状どおりの実施

検討…検討段階

7 総括

平成25年10月の「きらり」開所から約4年半が経過する中で、その運営に関する内容等については本協議会において確認及び検証を行ってきたところである。平成29年度は第2期（平成28・29年度）の最終年度として全4回の協議会を開催した。本頁はその1年間の総括としてまとめるものである。

はじめに、提供しているサービスの内容及び利用実績について、提供しているサービスは東京都福祉サービス第三者評価の評価機関による評価、本運営協議会委員による評価及び利用者調査の結果からも高く評価することができる。一方、利用実績に目を向けると、保育所等訪問支援事業については利用が少ない状況が続いている。その主な要因としては、利用者にも受け入れる側にも事業内容に関する周知が進んでいないことが挙げられるが、本事業は児童が集団生活にうまく馴染めるよう支援する有用な手段であることから、今後一層の周知啓発と利用促進を進めていくことが必要である。

続いて、施設の管理運営面について、運営法人が指定管理者として施設の管理を行っているが、大規模な修繕等はなく、また、委員の評価からもわかる通り、施設内は清潔に保たれていることから、管理状況は良好であるといえる。

続いて、「きらり」からの発信について、前年度から引き続き講演会並びに研修会等を複数回開催し、利用者以外の方や市内の支援者への発信に力を入れている。しかし、内容については一貫性に欠ける部分があり、今後は本運営協議会からの意見も取り入れながら計画していただきたい。

最後に、関係機関との連携について、幼稚園及び保育園とは支援者研修や日常の情報交換等を通して一定の関係性を構築することができていると考えられるが、それに比べると小中学校との連携については進捗が遅れている。課題としては、「きらり」の認知度が低いこと、また、それに起因してきらりと小中学校の連携が進んでいないことが挙げられる。平成29年度は、就学相談に関する説明会を「きらり」において開催したり、教育委員会主催の研修会に職員が定期的に参加したりするなど、新たな試みもあったが、依然として「きらり」の認知度が低い状況がうかがえる。今後は、小中学校における認知度を高め、より連携した支援が行えるよう注力していくことが急務である。

以上の内容を踏まえ、平成29年度における「きらり」の総合的な評価は、概ね高いものであるといえるが、一方で、「きらり」が抱える課題についても浮き彫りとなってきている。今年度課題として抽出された事項については、来年度以降解消していけるよう市及び運営事業者に期待するとともに、本協議会においても継続して議論を深めていくことが必要である。

参考資料

- 小金井市児童発達支援センター運営協議会規則
- 小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿
- 平成29年度講演会・研修会開催実績
- 平成29年度利用実績一覧

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

小金井市児童発達支援センター運営協議会規則

(趣旨)

第1条 この規則は、小金井市児童発達支援センター条例（平成25年条例第19号）第19条の規定及び小金井市と小金井市児童発達支援センターの指定管理者（以下「指定管理者」という。）との間で取り交わす管理に関する基本協定に基づき、小金井市児童発達支援センター（以下「センター」という。）の利用者及び関係者の意見を反映して指定管理者の事業運営の適正化を目的として設置する小金井市児童発達支援センター運営協議会（以下「協議会」という。）に関して、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第2条 協議会は、次に掲げる事項を所掌し課題解決等に向けた方策の提案並びに実施事業の執行状況の検証及び評価（以下この条において「提案等」という。）を行う。

- (1) センターの運営に関すること。
- (2) センターの管理に関すること。
- (3) センターの事業執行に関すること。
- (4) その他センターの事業に関すること。

2 協議会は、提案等の結果を速やかに市長に報告するものとする。

(組織)

第3条 協議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) センター利用者の保護者 3人以内
- (2) 市内関係団体代表 4人以内
- (3) 学識経験者 2人以内
- (4) 関係行政機関の職員 3人以内

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に、会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の2分の1以上の者の出席がなければ、会議を開催することができない。

3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(意見の聴取)

第7条 協議会は、必要に応じて委員以外の者に対して出席を求め、意見を聴くことができる。

(公開)

第8条 協議会は、公開とする。ただし、公開することが協議会の公正な運営に支障があると認められるときは、出席委員の過半数の議決により、非公開とすることができる。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、福祉保健部自立生活支援課において処理する。

(委任)

第10条 この規則の施行に関して必要な事項は、市長が別に定める。

付 則

この規則は、平成25年10月1日から施行する。

付 則 (平成28年3月31日規則第37号)

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

小金井市児童発達支援センター運営協議会委員名簿

(平成28年4月～平成30年3月まで)

氏名	選出区分
川村 祐子	市民公募
横田 涼子	
池尻 洋史	
吉岡 博之	市内関係団体
渡邊 孝之	
長岡 好	
吉岡 さやか	
高橋 智	学識経験者
金子 猛	
永井 秀二	関係行政機関
笠井 綾子 (平成29年3月31日まで)	
秋葉 美苗子 (平成29年4月1日から)	
花岡 好枝	

※敬称略

平成 29 年度講演会・研修会開催実績

主催講演会・研修会

開催日	内容	講師	対象者	参加者数
5月25日	就学相談・小金井市の特別支援教育について	きらり職員 市職員	きらり利用 保護者	26人
6月8日	良い姿勢が運動の発達につながるの はなぜか？	中山 雅和先生	市内在住・ 在勤・在学 の方	30人
7月6日	発達検査ってなん だろう？	きらり職員	きらり利用 保護者	26人
7月7日	子どものつまずき の原因から考える 支援	霜田 浩信先生	市内在勤 の、子ども の支援に携 わっている 方	95人
9月26日	遊びと感覚統合	きらり職員	きらり利用 保護者	7人
10月12日	子どもの立ち直り 力「レジリエン ス」を育てる	藤野 博先生	市内在住・ 在勤・在学 の方	103人
11月30日	医療から見た発達 支援	川崎 葉子先生	市内在勤 の、子ども の支援に携 わっている 方	107人

平成29年度利用実績一覧

	平成29年												平成30年3月31日現在		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
①相談支援事業（一般）	17件	10件	15件	18件	10件	19件	12件	27件	14件	6件	7件	11件	166件		
②相談支援事業（専門）	25件	41件	39件	45件	35件	50件	44件	69件	47件	49件	47件	52件	543件		
③相談支援事業（ B ）	35件	32件	51件	15件	19件	11件	18件	27件	23件	13件	16件	26件	286件		

	平成29年												平成30年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
④児童発達支援事業	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	22人	23人	23人	23人	23人	268人			
⑤放課後等デイサービス事業	50人	50人	50人	50人	50人	50人	50人	49人	49人	49人	49人	49人	-			
⑥保育所等訪問支援事業	0人	0人	0人	0人	0人	0人	1人	3人	3人	2人	1人	0人	10人			
回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	1回	3回	3回	2回	1回	0回	10回			
⑦親子通園事業	8人	19人	20人	21人	23人	25人	28人	32人	34人	36人	36人	36人	-			
回数	2回	7回	10回	8回	11回	9回	10回	12回	12回	9回	11回	6回	107回			
⑧外来訓練事業	109人	115人	120人	121人	122人	125人	125人	122人	125人	130人	130人	130人	-			
回数	279回	292回	298回	286回	257回	304回	288回	281回	295回	337回	308回	281回	3,506回			

各事業の報告内容について

①相談支援事業（一般）	新規の相談の方が対象
②相談支援事業（専門）	継続相談の方が対象。計画相談等も含まれる。
③相談支援事業（ B ）	相談者、関係機関等との電話での相談。予約受付は数に含まない。
④児童発達支援事業	登録者数
⑤放課後等デイサービス	登録者数
⑥保育所等訪問支援事業	登録者数及び実施回数
⑦親子通園事業	登録者数
⑧外来訓練事業	登録者数及び実施回数

平成30年度職員体制一覧

平成30年度4月1日現在

センター長		1名
相談支援専門員		1名
児童発達支援管理責任者（児童発達支援・保育所等訪問支援）		1名
児童発達支援管理責任者（放課後等デイサービス）		1名
児童発達支援	保育士・児童指導員	5名
	保育士・保育補助	10名
	嘱託医	4名
	看護師	3名
	栄養士	1名
	調理員	3名
	送迎	1名（運転手） 3名（添乗員）
放課後等デイサービス	保育士・児童指導員	2名
	保育士・保育補助	2名
相談支援 保育所等訪問支援 外来訓練 親子通園	臨床心理士	10名
	作業療法士	1名
		3名
	言語聴覚士	4名
理学療法士	1名	
事務員		1名

年度当初(4月1日現在)の各事業の在籍者数の推移

単位:人

事業	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
児童発達支援事業	20	21	22	22	22
放課後等デイサービス	48	32	50	50	50
外来訓練事業	39	52	91	109	110
親子通園事業	6	18	15	9	10

平成30年度講演会・研修会開催予定

種別	日程	テーマ	時間	講師	会場
一般向け研修	6/27 (水)	”ちゃんと人とつきあいたい”支援について 感情や行動のコントロールがうまくない子どもへのソーシャルスキルトレーニング	10:00～12:00	東京学芸大学 橋本創一先生	社医学講堂
	1/29 (火)	未定	10:00～12:00	口腔リハビリテーションセンター Dr.菊谷	口腔リハ 研修室
支援者 研修	6/13 (水)	幼児集団で気になる子への支援 ～あなたの園ではどうしてる？～	18:30～20:30	ファシリテータ:きらり職員	宮地楽器ホール
	11/29 (木)	未定	18:30～20:30	未定	
学保 学習者 会	5/11 (金)	就学相談・小金井市の特別支援教育について	10:00～11:30	小金井市教育委員会職員	きらりホール
	6/29 (金)	ペアレントトレーニングってなに？	10:00～11:30	きらり 心理	
	11/27 (火)	家庭でできる運動発達を促す遊び	10:00～11:30	きらり PT	
ペアトレ	4～6月 10～12月	ペアトレ 幼児 前期・後期 各7回シリーズ	10:00～12:00	きらり心理	きらり会議室
	4～6月 10～12月	ペアトレ 学齢児 前期・後期 各7回シリーズ	10:00～12:00	きらり 心理	

きらい講演会



“ちゃんと人とつきあいたい” 支援について

—感情や行動のコントロールがうまくない子どもへのソーシャルスキルトレーニング—

講 師：東京学芸大学 教育実践研究支援センター 教育臨床研究部門教授 橋本 創一先生

感情や行動のコントロールがうまくいかないために、他者とのコミュニケーションや集団での適応につまずきを抱えてしまう発達障害や知的障害のある子ども・成人が少なくありません。具体的な支援方法、社会性（ソーシャルスキル）を身につけてもらうトレーニングや練習について、日々の生活に取り入れ、定着させることの必要性とその方法を紹介します。

●日時：2018年6月27日(水) 10:00～12:00

●会場：社会医学技術学院 講堂（東小金井駅南口 徒歩3分）

小金井市中町 2-22-32

*駐車場の利用はできませんのでご了承ください

●対象：小金井市在住・在学・在勤の方（申込順 60名）

*FAXもしくはメールにて事前のお申込みが必要です（6/1～受付）

参加人数・全員のお名前・代表者の連絡先をお知らせください

●保育あります●

6月15日までに きらり ^電話にてお申込みください（先着順）

（保育の実施場所は、同学院 会議室です）

主 催：小金井市児童発達支援センターきらり・小金井市福祉保健部自立生活支援課

◆お問い合わせ・申し込み◆

小金井市児童発達支援センターきらり

☎ 電話 0422-60-1550

☎ FAX 0422-60-1564

✉ E-mail kirari4@group-kagawa.com（このアドレスは講演会申込み専用です）



外来訓練事業について

1 現状

(1) 概要

1人につき月3回を上限として訓練の枠を確保している。ただし、利用者が希望すれば、上限回数を月2回又は月1回とすることもできる。利用回数は利用月の前月に申し込むが、大多数は月3回を選択している。

(2) 年度当初の在籍者数の推移

資料6参照

(3) 平成30年度4月1日時点で月3回利用を選択している人数

91人

(4) 平成29年度の利用率

83.8% (実利用者数÷予約者数)

(5) 課題

ア 年度当初で受入れが頭打ちとなり、年度途中からの利用申込みに対応できない可能性がある。

イ 月3回を確保しているが、2回のみ利用に留まる方が一定数おり、ロスが発生している。

2 今後の方向性 (案)

案1 現状のまま月3回の訓練回数を確保する。 受入可能者数：130人前後※

案2 月2回の訓練回数に変更する。 受入可能者数：180人前後※

※専門職員の配置状況、利用者の希望日等により変動する可能性あり。

	メリット	デメリット
案1	<ul style="list-style-type: none"> 3回/月の利用により、効果が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初で受入れが頭打ちとなり、年度途中からの利用申込みに対応できない。 3回/月を確保しているが、2回のみ利用となっている方が一定数おり、ロスが発生している。
案2	<ul style="list-style-type: none"> 受け入れ者数が増える 	<ul style="list-style-type: none"> 3回/月より効果が低くなる。

平成 3 0 年度運営協議会開催予定

1 年間実施回数

4 回

2 次回以降の予定

回	開催日	時間	場所
第 2 回	平成 3 0 年 8 月 7 日 (火)	午前 1 0 時から正午まで	未定
第 3 回	平成 3 0 年 1 1 月 6 日 (火)	午前 1 0 時から正午まで	未定
第 4 回	平成 3 1 年 2 月 1 2 日 (火)	午前 1 0 時から正午まで	未定